## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称平成30年度第1回美里町介護保険運営委員会及び美里町地域包括支援センター運営協議会
- 2 開催日時 平成30年11月1日(金)午後2時00分から午後3時15分まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センターさるびあ館 2階研修室
- 4 会議に出席した者
  - (1)委員

髙橋文一委員、清水五郎委員、岡山昭彦委員、阿部まなみ委員、櫻井道子委員 原田伊都子委員、戸部成子委員、黒沼篤司委員、木村明子委員

(2)事務局

渡辺克也 伊藤博人 野田浩司 相原浩子 工藤俊樹

(3)その他

なし

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議題

平成29年度介護保険事業決算状況について 平成29年度地域包括支援センター運営報告について 地域密着型サービス事業所の指定等について その他

会議の公開・非公開の別公開

6 傍聴人の人数

0人

7 会議資料

別紙のとおり

## 8 会議の概要

- (1)議題に入る前の確認事項等
  - ・各委員、事務局等の紹介の後、委員長、副委員長の選出へ。

渡辺課長	それでは、次第に沿って進めさせていただきます。委員長及び副委員長の選出でございます。美里町介護保険条例第16条第1項におきまして、委員長及び副委員長の選出は委員の互選によって定めると規定しています。美里町地域包括支援センター条例第13条第1項におきましても同様に規定しております。選出の方法につきましてはいかがいたしましょうか。
	(「事務局案」提案の声あり)
渡辺課長	ただいま、事務局から案があればとの発言がありましたが、委員の皆様 よろしいでしょうか。
	(「はい」との声あり)
渡辺課長	それでは、事務局から提案をさせていただきます。事務局、お願いしま す。
野田課長補佐	それでは、事務局から提案させていただきます。委員長に歯科医師の「高橋文一委員」、副委員長に「清水五郎委員」を推薦させていただきます。 よろしくお願いします。
渡辺課長	ただいま、事務局から、委員長に「高橋文一委員」、副委員長に「清水五郎委員」という提案がありましたが、委員の皆様、よろしいでしょうか。
	(「異議なし」との声あり)
渡辺課長	それでは、委員長に「高橋文一委員」、副委員長に「清水五郎委員」を決定いたしました。 なお、高橋委員長には美里町地域包括支援センター運営協議会の会長、清水副委員長には美里町地域包括支援センター運営協議会の副会長を併せてお願いいたします。 なお、本会議の議長については、美里町介護保険条例第17条第1項及び美里町地域包括支援センター条例第14項第1項の規定により委員長が行うこととなります。高橋委員長よろしくお願いします。
高橋委員長	次第のとおり進めさせて頂きます。まず、事務局から議事等に入る前に 運営委員会の運営について確認することの申し出がありましたので、説 明をよろしくお願いします。
野田課長補佐	それでは、事務局より委員会の運営について確認事項を述べさせていた だきます。会議の公開と議事録の作成・公表及び議事録の作成につきま して、原則公開とします。議事録につきましては、要約筆記で作成し町

のホームページ等を活用して公表いたします。議事録公開までの流れと しまして、委員会において議事録署名人2名を選出していただきます。 事務局において議事録を調製し、選出された署名人2名に署名をいただ
きます。続きまして、傍聴人につきましては町の他の附属機関において
定数を5名としている附属機関が多いことからそれに倣い、当委員会で
も傍聴人数を5名にしたいと思います。よろしくお願いします。
(全員了解)
高橋委員長  出について案はありますか。
(無言)
(全員了解)
それでは指名させていただきます。署名人に関しては、阿部まなみ委員、   京 様 系 見 目   開せ送る系見にも疑いいたします。今送まちに関しては、原ます短週で
高 橋 委 員 長   櫻井道子委員にお願いいたします。会議書記に関しては、長寿支援課工
藤俊樹主事にお願いいたします。
(全員了解)
│
状況について」事務局お願いします。
野田課長補佐 (平成29年介護保険事業決算状況についての説明) 
高 橋 委 員 長 ありがとうございました。今の説明の中で疑問点等はありますか。
│
様な状況になると考えていますか。
第7期介護保険事業計画の資料に基づいて説明させていただきます。こ
ちらの資料でも、人口の推計をさせていただいて平成30年度の推計人
口が2万4624人に対して、平成37年度が2万2,932名となって
おります。高齢者人口推計につきまして平成30年度が8235人に対  野田課長補佐
│
年々減少していき、高齢者人口につきましては、年々増加しているとに
った全国の状況と変わらない状況が美里町にも当てはまると思われま
す。
高齢化が進んでいることは、目に見えてはいますが今の説明で納得がて
きました。全体を含めた説明を今いただきましたが、2025年問題と
櫻 井 委 員 いう団塊の世代が全員75歳になりますので、それに伴い何か問題が起
きると思います。
対応の方をよろしくお願いします。
大きな問題だと思うので、対応をよろしくお願いします。
高橋委員長  他にありませんか。
(無言)

高橋委員長	無いようですので次第に則って、「平成29年度地域包括支援センター運
	営報告について」事務局お願いします。
相原技術主幹	(平成29年度地域包括支援センター運営報告についての説明)
高橋委員長	ありがとうございました。今の説明の中で疑問点等はありますか。
	元気塾は社協に委託をしていますが、参加者はどの地域から来ているの
戸部委員	かわかりますか。中埣や南郷からの参加者は少ないのでしょうか。
	また、生きがいデイサービスに関してですが、現在利用している方々に
	ついてはどのような対応をしていくのでしょうか。
	元気塾に関しては、地域の参加状況に大きな差がでております。一番は、
	南郷地区の方が参加できる会場がないということがあり、地域全体で介
	護予防に努めるためには一か所で実施するだけでは足りないと考えてお
	ります。今後については、各地域でもっと身近なところで介護予防の図
	れるような取り組みを考えておりまして、現在協議しているところです。
	ただ、地域の方で毎週なにか教室を開くというのはかなり難しいのでは
	ないかと考えており、現在実施している「お茶飲み会」の中でどんなこ
	とをしたらよいのか考え、地域のコミュニティセンターとも連携をして
	どんな事業ができるかを検討していきたいと考えております。
相原技術主幹	生きがいデイサービスに関しては、介護予防として、介護サービスをで
	│ │きるだけ使わないように活動してきました。4月から、日常生活総合事
	│ │業の予算を使った事業に取り組むことでの移行を考えております。しか
	│ │し、実施場所としてどうしても介護サービスの実施事業所にお願いしな
	│ │ いとできないような事業なので、本人が介護を受ける状態じゃないと考
	   える人たちに対して、介護認定を受けて使うサービスではないことを利
	   用者や地域の方に対して説明する予定です。
	│ │現在、生きがいデイサービスを利用している方々を対象に、教室を開い
	│ て毎週同じように実施するというのは難しいので、事業所だけではなく
	   開催できるような形を現在考えているところです。
- 4 - 7 -	多くの人が利用できるようにするためにも考えていって欲しいと思いま
高橋委員長	す。よろしいですか。
戸 部 委 員	はい。
高橋委員長	他にありませんか。
清水副委員長	今の話を聞いて驚いたのですが、町全体でやっているのではなく一部の
	地域のみでやっていることに驚きました。町全体で取り組む必要がある
	のではないかと考えますが、元気塾の実施回数はどの様になっているの
	ですか。
	月2回実施しており、隔週で年間通して20回、前半10回後半10回
相原技術主幹	実施しています。元気塾への声掛け等を含め社協に事業を委託していま
	す。
L	

清水副委員長	できるだけ多くの人に参加いただくために、より多くの方法をとるべき				
	でないかと思います。				
高橋委員長	他にありませんか。				
	(無言)				
高橋委員長	ないようですので、次に、「地域密着型サービス事業所等の指定等につい				
	て」事務局お願いします。				
野田課長補佐	(地域密着型サービス事業所等の指定等についての説明)				
	資料3のデイサービスいこいの杜の指定有効期間について「平成30年				
	6月1日から平成36年5月31日まで」を「平成30年5月1日から				
	平成36年4月31日まで」に訂正をお願いします。				
高橋委員長	ありがとうございました。今の説明の中で疑問点等はありますか。				
高橋委員長	ほかに何かありますか。				
	(無言)				
高橋委員長	ないようですので次の「その他」に進みます。事務局から何かあります				
	か。				
野田課長補佐	特にありません。				
高橋委員長	委員の皆様から何かありますか。				
	(各委員から地域のお茶飲み会やボランティア活動等の近況報告)				
高橋委員長	事務局も大変だとは思いますが、今回出た意見を参考にしていただきた				
	いと思います。閉会のあいさつを渡辺課長お願いします。				
渡辺課長	以上を持ちまして、第1回美里町介護保険運営委員会及び美里町地域包				
	括支援センター運営協議会を終了いたします。本日は、ありがとうござ				
	いました。				

会議の経過を記載して、相違ないことを証するためここに署名する。

平成	年	月	日	
		Į		
	罗夕丞旨	<b>3</b>		